

2019年5月21日

会員 各位

一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア委員会

2019年度 RC 活動報告会 / 上期 RC 会員交流会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、大阪地区におきまして、2019年度 RC 活動報告会/上期 RC 会員交流会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。本年度も、RC 活動報告会を第一部とし RC 会員交流会を第二部として、下記の要領で同日に開催いたします。

第一部の RC 活動報告会は一般に公開しており、どなたでもご参加いただけます。

第二部の RC 会員交流会は日化協の RC 会員企業向けの催しで、一般の方のご参加はご遠慮いただいております。

RC 会員交流会は、本年度も昨年度と同様、分科会を中心に開催いたします。分科会は、選択いただいたテーマについて少人数で活発な意見交換・情報交換をしていただき、会員同士で相互啓発いただくことを意図しておりますので、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

- 記 -

1. 日時：7月23日（火）

【第一部】 RC 活動報告会	10:00～12:30	(9:30 受付開始)
【第二部】 上期 RC 会員交流会	13:30～17:00	
懇親会	17:00～18:30	

2. 場所：関電会館 エルガーデン 会議室

大阪府大阪市北区中之島 3-6-16 関電ビルディング 4F

TEL：06-6441-6800

【場所】 http://loco.yahoo.co.jp/place/g-2V8_m5PYayI/map/?utm_source=dd_spot

3. 次第

【第一部】 RC 活動報告会（公開）

1) 事務局からのご連絡	10:00～10:05
2) 開会挨拶 日化協 常務理事 永松茂樹	10:05～10:10
3) レスポンシブル・ケア（RC）賞 受賞講演（Q&Aを含む）	10:10～11:00

- ① RC 大賞 花王株式会社
 - ◆ プロセス安全評価による防災活動
- ② RC 審査員特別賞 住友化学株式会社
 - ◆ 持続可能な低炭素社会への新たな挑戦
- ③ RC 優秀賞 徳山積水工業株式会社
 - ◆ 徳山積水工業(株)における自然保護活動

- 4) 講演 11:00~12:30
テーマ：安全においてヒューマンファクターをどう捉えるか
講師：JR東日本研究開発センター 副所長 楠神 健 氏

上記 3)、4) の講演の内容につきましては、別紙をご参照下さい。

<休憩>

【第二部】RC 会員交流会 (RC 委員会会員のみ)

- 1) 開会挨拶 RC 委員会・会員交流 WG 主査 鈴木 吉昭 氏 13:30~13:40
- 2) 日化協の SDGs 活動についてのご紹介 13:40~14:00
- 3) 分科会 14:00~16:00
- 分科会 1 工場における爆発・火災事故防止に対する取組
- 分科会 2 温暖化対策への全社の取組
- 分科会 3 自然保護活動の進め方と住民対話
- 分科会 4 工場のオペレーションにおけるヒューマンエラー対策
- 分科会 5 品質保証担当者の人づくり

- ・ 分科会 1~3 の討議は、RC 賞受賞講演の内容を題材にして、
- ・ 分科会 4 の討議は、楠神氏の講演内容を題材にして、
- ・ 分科会 5 は、以前よりプラントのオペレーションや保守・保全に携わる方々の人材育成（技術・技能の伝承 或いは 安全教育など）については話し合ってきましたので、今回は 品質保証に携わる方の人材育成に関して、情報や意見の交換を行う予定です。

<休憩>

- 4) 分科会報告 16:15~16:50
- 5) 閉会の辞 16:50~17:00

<懇親会会場への移動>

- ★ 懇親会 17:00~18:30

※ 懇親会を含め参加費は不要です。

別紙

>>>> 講演内容紹介 <<<<

[1] 日化協レスポンシブル・ケア賞 受賞講演

レスポンシブル・ケア賞は、レスポンシブル・ケア（RC）活動に携わっている方々の活動意欲の向上と活動の活性化とを目指して、2006年に創設されました。そして2013年度の第8回からは、安全表彰・技術賞と並ぶ日化協3賞の一つに昇格させ、現在に至っております。

具体的には、RCの6コード（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動の普及や推進に優れた功績を残した 或いは 貢献をした事業所・部門・グループまたは個人を表彰しています。

2018年度は、RC大賞1件、RC審査員特別賞2件、RC優秀賞3件、RC努力賞2件を表彰しましたが、上期会員交流会では、その中の3件につきまして、発表いただきます。

【日化協 RC 大賞】

花王株式会社 SCM 部門

テーマ： プロセス安全評価による防災活動

活動： 系外に漏れ出した化学物質の自然発火 及び 反応器での暴走反応について、科学的手法を用いた独自の「プロセス安全評価手法」を確立。国内工場に展開し、これらのトラブルを大幅に削減した。

活動の実効を上げるため、評価手法の確立では現場での使いやすさに配慮。また、全社横断的な組織を構築して活動を展開するとともに、確立した手法を着実に運用するためのシステム作りや教育にも力を入れている。

【日化協 RC 審査員特別賞】

住友化学株式会社 レスポンシブルケア部（気候変動対応）

テーマ： 持続可能な低炭素社会への新たな挑戦

活動： 低炭素社会実現に向けて、事業所の省エネを進め、原単位を大幅に削減した。また、パリ協定の2℃目標達成に貢献可能な製品や技術を推進するため、それらを“Sumika Sustainable Solutions (SSS)”として認定する制度をスタートさせ、更にTCFD*提言の支持、SBT*認定取得などを行ってきた。化学産業が社会にとって本当に必要な産業であることを積極的に発信することを可能にする活動である。

* TCFD： Task Force on Climate-related Financial Disclosures
(気候関連財務情報開示タスクフォース)

* SBT： Science Based Targets (科学と整合した目標設定)

【日化協 RC 優秀賞】

徳山積水工業株式会社

テーマ： 徳山積水工業(株)における自然保護活動

活動： 地域に密着した環境保全活動として、2000年より周南市から借り受けた市有林(2,500m²)で「積水の森整備活動」を、2009年から「周南市西緑地公園整備活動」を、更に2014年からは「栄谷市有林整備作業(18,200m²)」を実施。18年以上にわたり行政や地域社会と連携して自然保護活動を展開し「地域社会への貢献」も果たしてきた。

[2] 講演：「安全においてヒューマンファクターをどう捉えるか」

講演概要：

東日本旅客鉄道(株)は、現在第7期の安全中期計画を、「一人ひとりの安全行動の進化と変革」「安全管理の進化と変革」「新たな技術を積極的に活用した安全設備の整備」を三本柱として、推進している。前半ではその概要を説明する。

後半では、化学業界と共通する「異常時のヒューマンエラー防止」について、鉄道における典型的な異常時エラーのタイプを説明するとともに、東日本旅客鉄道(株)が重視する「危ないと思ったら列車を止める！」を例に、その推進方法を紹介する。

講師紹介： 楠神 健（くすかみ けん）氏

博士（心理学）

東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 副所長（ヒューマンファクター）

1982年 東京大学文学部心理学科卒業、国鉄入社

1984年 国鉄 鉄道労働科学研究所 労働心理研究室 研究員

1987年 国鉄民営分割化、(財)鉄道総合技術研究所へ

1993年 (財)鉄道総合技術研究所 人間工学研究室 主任研究員

1997年 東日本旅客鉄道株式会社 安全研究所 主任研究員（安全心理）

2002年 同 JR東日本研究開発センター 安全研究所 主任研究員（安全心理）

2005年 同 JR東日本研究開発センター 安全研究所 次長（ヒューマンファクター）

2008年 同 JR東日本研究開発センター 安全研究所 所長

2013年～現職

専門： 産業・組織心理学、人間工学、ヒューマンエラー、事故分析、安全管理、安全教育・人材育成

－以 上－